

- 文化観光推進法(令和2年4月17日公布、5月1日施行)に基づき、主務大臣(文部科学大臣、国土交通大臣)が拠点計画・地域計画を認定し、これらの計画に基づく事業に対する特別の措置等の支援を講じる枠組みを創設。
- 5月29日から6月30日まで第1次募集を実施し、有識者委員会による審査を経て、8月12日に10件の計画を初めて認定し、発表(拠点計画4件、地域計画6件)。
- 認定計画に対し、文化クラスター推進事業(文化庁予算約15億円、補助額5千万円程度/件)や観光庁の連携予算等により支援。
- 9月28日から9月30日に実施を予定している第2次募集に向け、9月7日より申請前相談を開始する予定。
- 地域における文化観光を全国各地で推進するため、来年度に向け、予算、税制、金融等の総合的な施策パッケージによる計画支援の充実に取り組む。

予算:文化クラスター推進事業の拡充の検討

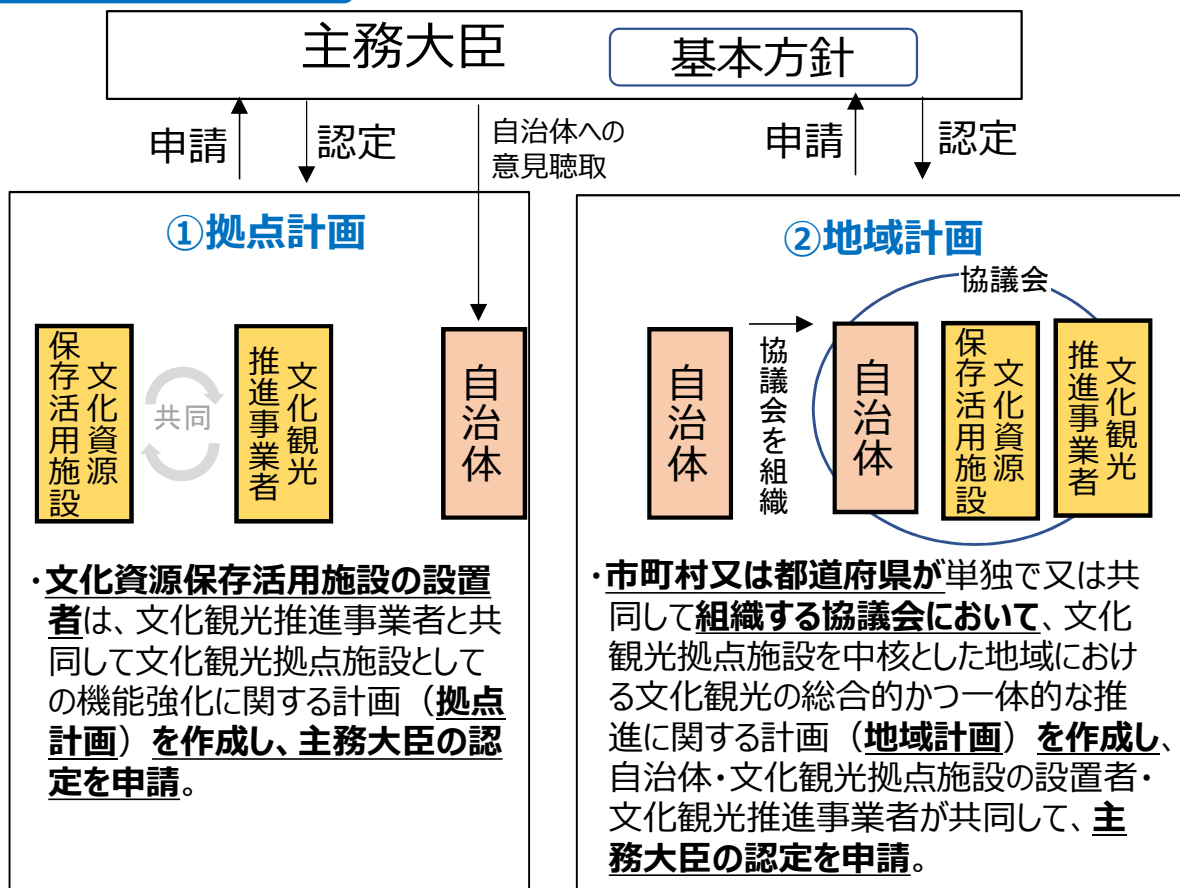
税制:文化観光の推進に資する不動産(古民家等)の取得に係る特例措置の創設の検討

金融:日本政策金融公庫による低利融資制度の活用 の検討

趣旨

文化・観光の振興、地域の活性化には、文化についての理解を深める機会の拡大及びこれによる国内外からの観光旅客の来訪促進が重要。文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光を推進するため、主務大臣（文部科学大臣・国土交通大臣）による基本方針の策定、拠点計画・地域計画の認定、これらの計画に基づく事業に対する特別の措置等を講ずる。

法案のスキーム



文化資源保存活用施設：博物館、美術館、社寺、城郭等
 文化観光推進事業者：観光地域づくり法人（DMO）、観光協会、旅行会社等
 文化観光拠点施設：文化資源保存活用施設が、文化観光推進事業者と連携し、文化についての理解を深めるための解説紹介を行う

※施行期日：令和2年5月1日

認定による国等の支援

法律上の特例措置

- ・共通乗車船券、道路運送法、海上運送法に関する特例措置
- ・文化財の登録の提案に関する特例措置
- ・国・地方公共団体・国立博物館等による助言、
- ・（独）国際観光振興機構（JNTO）による海外宣伝
- ・国等所有の文化資源の文化観光拠点施設での公開への協力等

予算上の措置

- **博物館等を中核とした文化クラスター推進事業**
 - ・令和2年度予算額：1,490百万円（新規）
 - ・積算件数：25件（1件5千万円）
 - ・補助率：予算の範囲内で補助対象経費の2/3
 - ・国の認定を受けた事業に係る地方負担分は特別交付税措置

（各計画において行われる事業のイメージ）

① 文化資源の魅力増進

- ・地域の文化資源の調査研究 ・資料・コレクションのデータベース化
- ・鑑賞しやすい展示改修 ・専門人材確保

② 理解を深めるのに資する取組

- ・展示品のわかりやすい解説紹介 ・多言語アプリ、オーディオガイド
- ・VR・AR等の体験型コンテンツ ・ガイドツアー事業 ・専門人材確保

③ 利便の増進

- ・地域内の周遊バス借上 ・キャッシュレス、Wi-Fi整備
- ・バリアフリー整備（スロープ等） ・館内案内の多言語化

④ 物品の販売提供、他施設との連携

⑤ 国内外への宣伝

拠点計画

地域計画



⑥特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡を中核とする地域文化観光推進地域計画
 地方公共団体：福井県、福井市
 中核とする文化観光拠点施設（設置者）：
 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館（福井県）、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）
 文化観光推進事業者：
 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会、（公社）福井県観光連盟

①横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画
 地方公共団体：横手市
 中核とする文化観光拠点施設（設置者）：
 横手市増田まんが美術館（横手市）
 文化観光推進事業者：
 （一財）増田まんが美術財団、（一社）横手市観光推進機構、横手市地域資産活用推進事業協議会

⑦いかす・なら地域計画
 地方公共団体：奈良県
 中核とする文化観光拠点施設（設置者）：
 奈良国立博物館（独立行政法人奈良国立博物館）、奈良県立美術館（奈良県）、奈良県立民俗博物館（奈良県）、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館（奈良県）、奈良県立万葉文化館（奈良県）、なら歴史芸術文化村（奈良県）
 文化観光推進事業者：西日本旅客鉄道(株)、近畿日本鉄道(株)、奈良交通(株)、いかす・なら地域協議会

②群馬県立歴史博物館イノベーション文化観光拠点計画
 文化資源保存活用施設（設置者）：群馬県立歴史博物館（群馬県）
 文化観光推進事業者：（公財）群馬県観光物産国際協会
 群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会

⑧屋根のないミュージアム・堺 地域計画
 地方公共団体：堺市
 中核とする文化観光拠点施設（設置者）：
 堺市博物館（堺市）、さかい利晶の社（堺市）、堺伝統産業会館（（公財）堺市産業振興センター）
 文化観光推進事業者：（公財）堺観光コンベンション協会

③天王洲アートシティ創造推進施設「TERRADA ART MUSEUM（仮称）」拠点計画
 文化資源保存活用施設（設置者）：
 TERRADA ART MUSEUM（仮称）（寺田倉庫株式会社）
 文化観光推進事業者：
 （一社）天王洲・チャンネルサイド活性化協会、エクスペリサス(株)、(株)MATCHA

⑨大原美術館を中核とした倉敷美観地区の文化・観光推進拠点計画
 文化資源保存活用施設（設置者）：
 大原美術館（公益財団法人大原美術館）
 文化観光推進事業者：
 （公社）倉敷観光コンベンションビューロー、倉敷商工会議所、語りい座大原本邸

④山梨県文化観光推進地域計画
 地方公共団体：山梨県
 中核とする文化観光拠点施設（設置者）：
 山梨県立美術館（山梨県）、平山郁夫シルクロード美術館（（公財）平山郁夫シルクロード美術館）、中村キースヘリング美術館（株式会社アルテミス）、青春芸術村（（公財）青春白樺美術館）
 文化観光推進事業者：
 （一社）ハケ岳ツーリズムマネジメント、やまなし観光推進機構

⑩阿蘇ジオパークの拠点施設を中核とした文化観光の推進に係る地域計画
 地方公共団体：
 阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町
 中核とする文化観光拠点施設（設置者）：
 阿蘇火山博物館（公益財団法人阿蘇火山博物館）
 文化観光推進事業者：（公財）阿蘇和世遺産センター

⑤徳川美術館の文化観光拠点計画
 文化資源保存活用施設（設置者）：
 徳川美術館（公益財団法人徳川黎明会徳川美術館）
 文化観光推進事業者：
 名古屋市観光文化交流局、（公財）名古屋観光コンベンションビューロー、(株)リクルートライフスタイル

① 横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画

計画作成・実施体制

協議会：横手市地域資産活用推進事業協議会
 自治体：横手市
 中核文化観光拠点施設（設置者）：
 横手市増田まんが美術館（横手市）
 文化観光推進事業者：
 （一社）横手市観光推進機構、（一財）横手市増田まんが美術館財団、
 横手市地域資産活用推進事業協議会

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

- 外国人来訪者の満足度
2020年度 50%→2024年度 70%（+20%）
- 拠点施設への外国人来訪者数
2019年度 1千人→2024年度 1.6千人（1.6倍）
※10年後（2029年度）には2千人（2.0倍）
- 一人当たり観光消費額（日本人・外国人）
2020年 6千円→2024年 17千円（約2.8倍）

地域文化観光推進事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- 観光ボランティアガイドの育成

<2.文化観光に関する利便の増進>

- Wi-Fi環境整備、市内施設周遊促進のための2次アクセス連携事業

<3.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- 地域の飲食店等と連携した収蔵マンガ原画にちなんだオリジナルメニューの開発

<4.国内外への宣伝>

- PRサポーターやアンテナショップ等と連携したPR

<5.施設又は設備の整備>

- 伝建地区を中心とする誘導案内板およびマンガ原画等の鑑賞スポット整備

文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

800万円

計画区域



秋田県立近代美術館
(文化施設)



かまくら館
(観光施設)



横手公園展望台
(観光施設)

秋田ふるさと村
(観光施設)

地域の宿泊施設

増田重要伝統的建造物群保存地区 (重要文化財等)

- 誘導案内看板整備
- マンガ原画等鑑賞スポット整備等
(2021～2024年度整備予定)



道の駅 十文字

三平の里
(収蔵作品ゆかりの地整備等)

<横手市>

横手市増田まんが美術館 (釣りキチ三平等のマンガ原画等)



中核文化観光拠点施設 (主要な文化資源)

主要な文化資源 (文化財等の種類)

飲食施設 販売施設

宿泊施設 その他施設

②群馬県立歴史博物館イノベーション文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者):

群馬県立歴史博物館(群馬県)

文化観光推進事業者:

群馬県、(公財)群馬県観光物産国際協会、群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会

計画期間

2020年度～2024年度(5年間)

目標

- 外国人来訪者の満足度
2019年 85%→2024年 90% (+5%)
- 外国人来訪者数
2019年 0.3千人→2024年 0.6千人(2倍)
※10年後(2029年)には1.5千人(5倍)
- 日本人来訪者数
2019年 110千人→2024年 150千人(約1.4倍)
- 来館者(日本人・外国人)のリピート率
2019年 30%→2024年 60% (+30%)

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- 希少性の高い埴輪を3Dでデジタルアーカイブし、3D展示やARコンテンツとして活用

<2.文化についての理解促進>

- 映像でビジュアル的に解説する等、ストーリー性のあるわかりやすい解説、展示解説の多言語化、ARを活用した体感型コンテンツ開発

<3.文化観光に関する利便の増進>

- 企画展に合わせた駅からの臨時バスの運行

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- ミュージアムショップ・カフェ・レストランの商品開発

<5.国内外への宣伝>

- 埴輪及び榛名山噴火関連遺跡を国内外にPRする映像制作

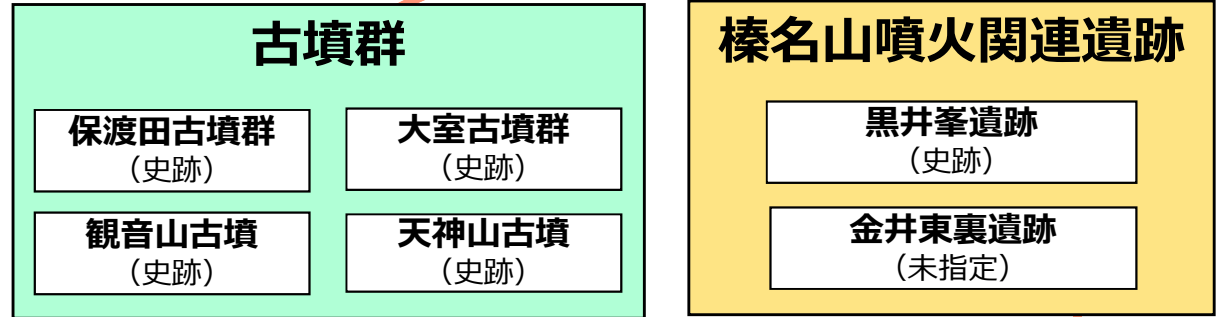
<6.施設又は設備の整備>

- 手作り埴輪の体験ができる工房の設置

文化クラスター推進事業費(令和2年度・要望ベース)

6,800万円

計画区域



高崎駅

<高崎市>

群馬県立歴史博物館
(埴輪等の古墳出土品等)



中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設

③天王洲アートシティ創造推進施設「TERRADA ART MUSEUM (仮称)」拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設（設置者）：
TERRADA ART MUSEUM (仮称) (寺田倉庫株式会社)
文化観光推進事業者：
(一社) 天王洲・キャナルサイド活性化協会
イクスベリサス株式会社、株式会社MATCHA

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

新規開館施設のため、2020年度の目標を基準値としている

- ・来訪者満足度 日本人（外国人）
2020年度 3.7(4.0)→2024年度 4.3(4.3)（約1.1倍）
※ 5段階の満足度の平均値
- ・外国人来訪者数
2020年度 1千人→2024年度 28千人（28倍）
- ・リピート率（日本人・外国人）
2020年度 5%→2024年度 25%（+5倍）

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- ・コレクター所蔵のアート作品を中心としたアートミュージアムを開館
- ・地域文化観光事業者との連携による文化資源の魅力増進

<2.文化についての理解促進>

- ・海外富裕層向け旅行商品を企画、販売する共同申請者と連携したミュージアムナイトツアーを実施

<3.文化観光に関する利便の増進>

- ・キャッシュレス・Wi-Fi整備、館内多言語化、バリアフリー化

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- ・若手アーティストの作品を展示、販売する機能に、カフェとカルチャーセミナー機能が共存するアートギャラリーカフェを開設

<5.国内外への宣伝>

- ・インバウンドメディアを通じた情報発信

<6.施設又は設備の整備>

- ・アートギャラリーカフェの整備

計画区域 天王洲キャナルサイド



<品川区> **TERRADA ART MUSEUM (仮称)**
(草間彌生、奈良美智 等の作品、ショップ、アートギャラリーカフェ、等)



文化クラスター推進事業費 (令和2年度・要望ベース)
13,800 万円

中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

その他施設

④山梨県文化観光推進地域計画

計画作成・実施体制

協議会：山梨県文化観光推進協議会
 自治体：山梨県
 中核文化観光拠点施設（設置者）：
 山梨県立美術館（山梨県）、中村キース・ヘリング美術館（株式会社アルテス）、清春芸術村（公財）清春白樺美術館、平山郁夫シルクロード美術館（公財）平山郁夫シルクロード美術館
 文化観光推進事業者：
 （一社）八ヶ岳ツーリズムマネジメント、（公財）やまなし観光推進機構

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

- ・外国人来訪者の満足度
 2019年 28%→2024年 35%（+7%）
 （峡中エリアの「非常に満足」の割合）
- ・外国人来訪者数
 2019年 505千人→2024年 580千人（約1.1倍）
 ※10年後（2029年）には1,010千人（2倍）
- ・外国人宿泊客一人当たり消費額
 2019年 12,795円→2024年 16,700円（約1.3倍）

地域文化観光推進事業

- <1.文化資源の総合的な魅力の増進に関する事業>
 - ・文化資源の意義を体感できる展示の実現、文化資源のデジタル化、コンテンツ開発による、資源の保存と活用の両立
- <2.文化観光に関する利便の増進>
 - ・鉄道、バス、レンタサイクル等交通機関をシームレスに利用できる状況の実現
- <3.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>
 - ・関係事業者と連携し、文化・自然・食を結ぶ山梨ならではの体感プログラムの実現
- <4.国内外への宣伝>
 - ・域内の文化観光情報を束ねるプラットフォームの整備
- <5.施設又は設備の整備>
 - ・山梨の食文化を体験するための設備等の整備

文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

73,000千円

計画区域

八ヶ岳観光圏

峡北エリア

<北杜市>

平山郁夫シルクロード美術館
 （シルクロード周辺諸国の美術品等）

中村キース・ヘリング美術館
 （米国人作家キースヘリングの作品等）

清春芸術村
 （近現代の国内外芸術家の作品等）

美術館を基点に
「自然」の魅力を味わえる
 観光体験創出

八ヶ岳の豊かな自然
 （国定公園）



ワインや自然食など、県内の「食」文化との連携

「Well-being」
 （健康、共生、幸福）
 をテーマに
 文化観光を推進



甲府盆地特有の
 景観を示す
 芸術の森公園

<甲府市>

山梨県立美術館
 （ミレー等を中心とした19世紀
 フランス絵画）

峡中エリア

中核文化観光拠点施設
 （主要な文化資源）

主要な文化資源
 （文化財等の種類）

飲食施設
 販売施設

宿泊施設
 その他施設

⑤ 徳川美術館の文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設：
徳川美術館(公財) 徳川黎明会 徳川美術館

文化観光推進事業者：
名古屋市観光文化交流局、(公財) 名古屋観光コンベンションビューロー、(株) リクルートライフスタイル

計画期間

2020年度～2025年度(6年間)

目標

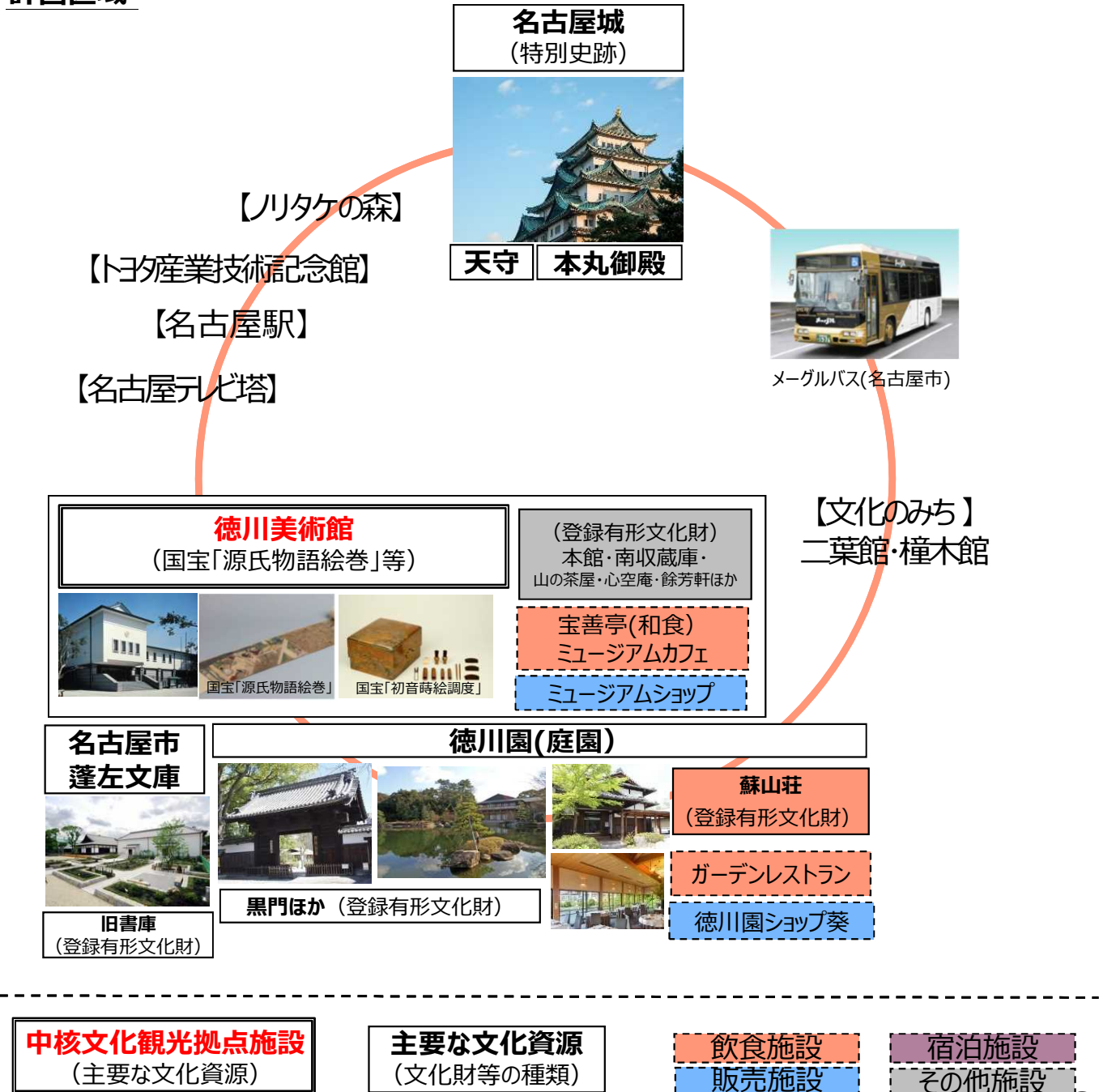
- 外国人来訪者の満足度
2021年 70%→2025年 90% (約1.3倍)
- 外国人来訪者数
2018年 5千人程度→2025年 10～15千人程度 (約2～3倍)
※10年後(2029年)には15～20千人程度 (約3～4倍)
- 日本人来訪者数
2018年 223千人→2025年 250千人 (約1.1倍)

文化観光拠点施設機能強化事業

- 文化資源の魅力の増進**
 - 三の丸尚蔵館所蔵の「源氏物語図屏風」等を借用し、企画展を実施、ナイトミュージアムにおいて特別の鑑賞機会を提供
- 文化についての理解促進**
 - スマホ等における多言語ガイドの導入、入門者向け解説・ワークシートの開発
- 文化観光に関する利便の増進**
 - メーグルバスとの連携・割引券発行による、名古屋城から徳川美術館への周遊促進
- 飲食、販売、宿泊等との連携の促進**
 - 喫茶スペースの拡張・メニュー充実、ショップにおける商品開発
- 国内外への宣伝**
 - 徳川園全体を観光スポットとし、名古屋城等における広報展開
- 施設又は設備の整備**
 - ナイトミュージアムのライトアップ整備、展示解説の改修

文化クラスター推進事業費(令和2年度・要望ベース)
500万円

計画区域



⑥特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡を中核とする地域文化観光推進地域計画

計画作成・実施体制

協議会：一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会
 自治体：福井県、福井市
 中核文化観光拠点施設（設置者）：
 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館（福井県）（令和4年10月～福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称））、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）
 文化観光推進事業者：
 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会、（公社）福井県観光連盟、福井市

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

- ・日本人来訪者の満足度
2019年 35%→2024年 45%（5段階評価の最高値）（+10%）
- ・日本人来訪者数
2019年 88千人→2024年 200千人（約2.3倍）
- ・外国人来訪者数
2019年 440人→2024年 1,000人（約2.3倍）
※10年後（2029年）も1,000人程度を目標（約2.3倍）

地域文化観光推進事業

<1.文化資源の魅力の増進>

・遺跡の魅力を実感できるAR等の制作、時代衣装や出土遺物復元品を活用した体験メニューの充実

<2.文化観光に関する利便の増進>

・バスの増便やリニューアルなど交通機関の魅力向上、トイレ設置や券売機導入による利便性向上

<3.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

・資料館（新博物館）、遺跡、飲食施設、宿泊施設等をセットで楽しめる割引クーポンの発行

<4.国内外への宣伝>

・専門サイトでのPRや旅行会社への売り込み等によるインバウンド推進

<5.施設又は設備の整備>

・遺跡内無料Wi-Fiの整備、体験メニュー用の施設改修

文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

1,800万円

計画区域

（2022年10月開館）

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）
 （遺跡からの出土遺物等（重要文化財2,343点含む））



<福井市>

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

（遺跡からの出土遺物等（重要文化財2,343点含む））



<福井市>

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡

（特別史跡、特別名勝庭園）



周辺の販売施設

周辺の飲食施設

周辺の宿泊施設

J R 福井駅

周辺の飲食施設

周辺の宿泊施設

<福井市>

周辺の文化資源

- ・福井城址
- ・北ノ庄城址
- ・養浩館庭園 等

周辺の販売施設

中核文化観光拠点施設
 （主要な文化資源）

主要な文化資源
 （文化財等の種類）

飲食施設
 販売施設

宿泊施設
 その他施設

⑦いかす・なら地域計画

計画作成・実施体制

協議会：いかす・なら地域協議会

自治体：奈良県

中核文化観光拠点施設（設置者）：奈良国立博物館（独立行政法人国立文化財機構奈良国立博物館）、奈良県立美術館（奈良県）、奈良県立民俗博物館（奈良県）、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館（奈良県）、奈良県立万葉文化館（奈良県）、なら歴史芸術文化村（奈良県）

文化観光推進事業者：

西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

・外国人来訪者の満足度

2018年 96.2%→2024年 96.2%

・外国人来訪者数

2018年 2,580千人→2024年 4,500千人（約1.7倍）

※10年後（2029年）には5,600千人（約2.2倍）

・外国人宿泊者数

2019年 461千人→2024年 1,000千人（約2.2倍）

地域文化観光推進事業

<1.文化資源の魅力の増進>

・テーマを設定し、複数の文化施設等が連携した誘客イベントを実施

<2.文化観光に関する利便の増進>

・拠点施設等の共通入館券等の導入

<3.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

・宿泊施設等と連携した特別パッケージツアーの造成

<4.国内外への宣伝>

・海外の博物館等と連携した文化財等の海外・本邦展覧会等（アジア・欧米）

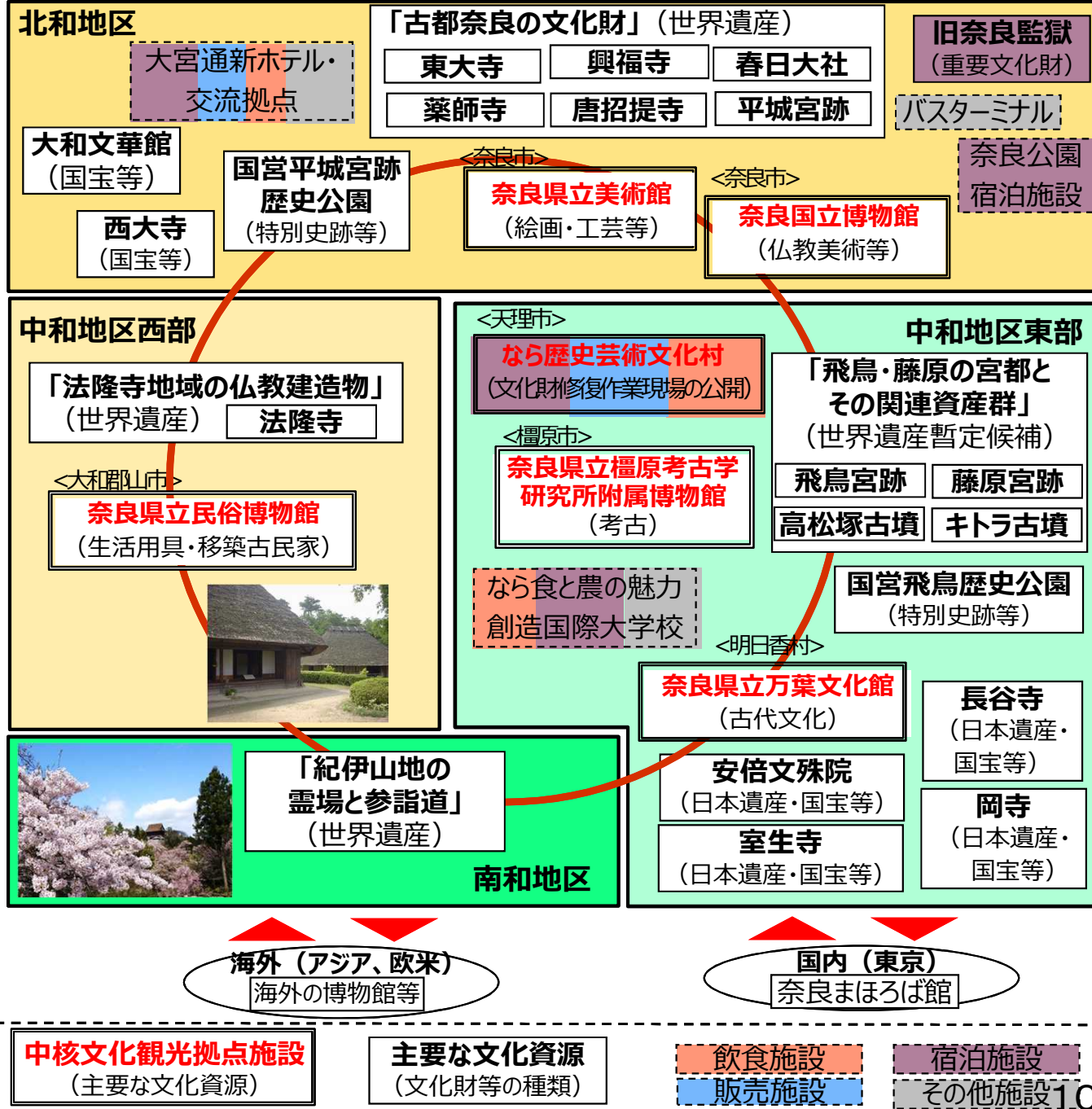
<5.施設又は設備の整備>

・県内全域の文化観光のゲートウェイの役割を担う複合施設「なら歴史芸術文化村」の整備（文化財保存修復作業の常時公開、伝統工芸品・農産物等の販売、宿泊施設の併設等）

文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

7,300万円

計画区域



⑧屋根のないミュージアム・堺 地域計画

計画作成・実施体制

協議会：堺市文化観光推進協議会
 自治体：堺市
 中核文化観光拠点施設（設置者）：
 堺市博物館（堺市）、さかい利晶の杜（堺市）、堺伝統産業
 会館（（公財）堺市産業振興センター）
 文化観光推進事業者：
 （公社）堺観光コンベンション協会

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

- 外国人来訪者の満足度
2019年 76%→2024年 85%（+9%）
- 外国人来訪者数
2018年 90千人→2024年 180千人（約2倍）
※10年後（2029年）には270千人（約3倍）
- 再訪希望率
2018年 49%→2024年 70%（+21%）

地域文化観光推進事業

<1.文化資源の魅力の増進>

・デジタルコンテンツの導入による歴史の再現など展示内容のさらなる充実

<2.文化観光に関する利便の増進>

・Wi-Fiの整備、路面電車やバスの共通乗車券の活用

<3.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

・民間事業者と連携し、刃物、和菓子等の堺の伝統産業のものづくり体験ができるコンテンツを企画

<4.国内外への宣伝>

・大阪観光局と連携した海外プロモーション、ホームページの多言語化やコンテンツの充実

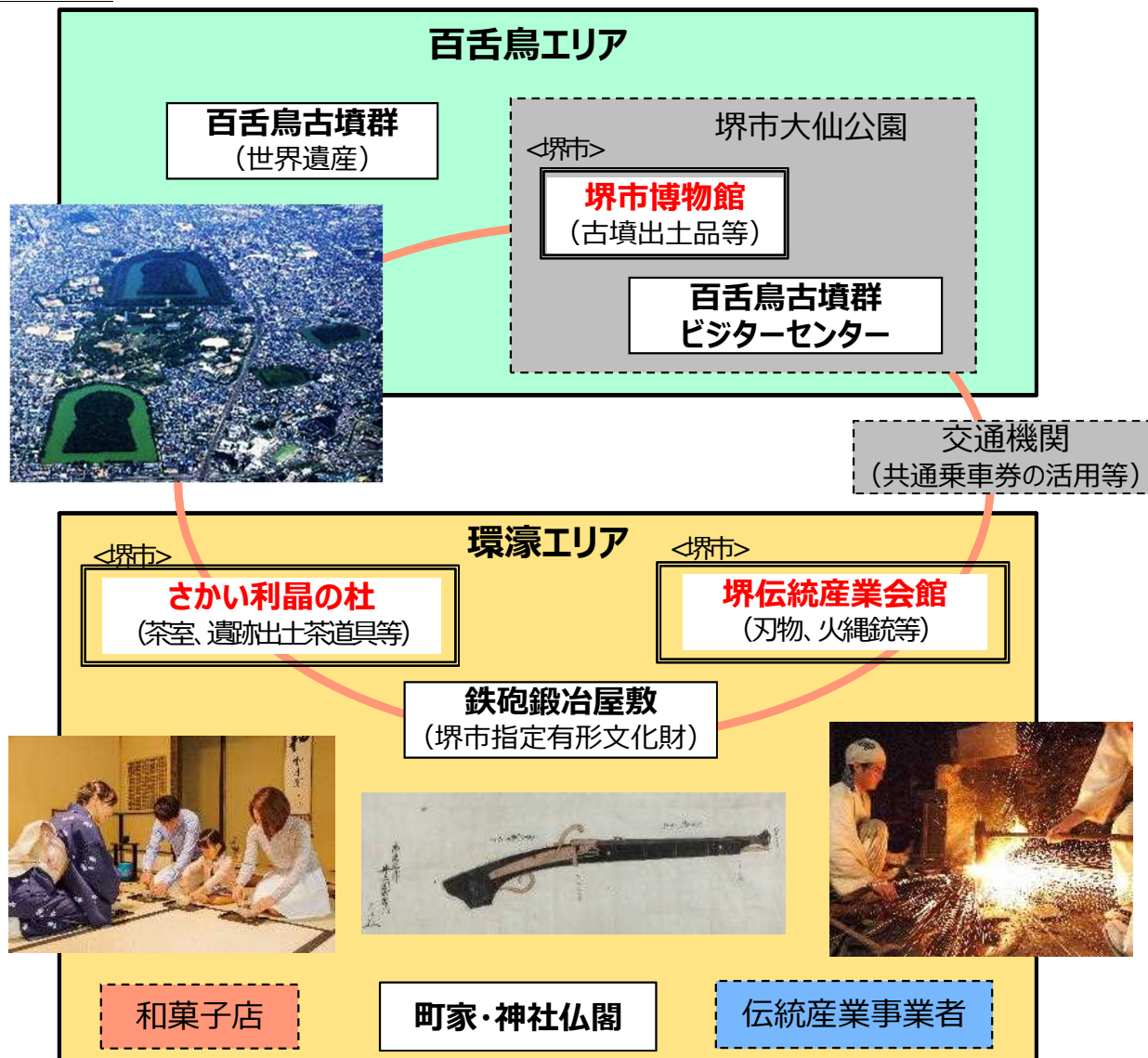
<5.施設又は設備の整備>

・鉄砲鍛冶屋敷を堺のものづくりの歴史を象徴する施設として整備、古墳群の雄大さを体感できるガス気球の整備

文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

9,300万円

計画区域



中核文化観光拠点施設
 （主要な文化資源）

主要な文化資源
 （文化財等の種類）

飲食施設
販売施設

宿泊施設
 その他施設

⑨大原美術館を中核とした倉敷美観地区の文化・観光推進拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設（設置者）：
大原美術館（（公財）大原美術館）
文化観光推進事業者：
（公社）倉敷観光コンベンションビューロー、倉敷商工会議所、
語り座 大原本邸

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

- ・外国人来訪者満足度
2019年 85%→2024年 95%（+10%）
※6段階の満足度のうち、レベル4以上の回答割合。
- ・外国人来訪者数
2019年 13,000人→2024年 15,000千人（約1.15倍）
※10年後（2029年）には25,000千人（約2.2倍）
- ・観光型宿泊施設宿泊者からの入館者割合
2019年 5.1%→2024年 8%（+2.9%）
- ・飲食店、土産物店等との連携店数
2019年 40店→2024年 100店（約2.5倍）

文化観光拠点施設機能強化事業

- <1.文化資源の魅力の増進>
 - ・海外富裕層向け特別ツアーの実施のための通訳ガイド養成
- <2.文化についての理解促進>
 - ・「美術講座」「ギャラリーツアー」といった鑑賞支援プログラムの対象を外国人にも拡大。
- <3.文化観光に関する利便の増進>
 - ・館内のWi-Fi整備やバリアフリー化等受入環境の整備
- <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>
 - ・観光施設、宿泊施設、旅行業者等と連携し、美術館と周辺の歴史的建造物とを組み合わせたツアー等の商品造成
- <5.国内外への宣伝>
 - ・宿泊施設や観光施設と連携し大都市圏での商談会等に参加
- <6.施設又は設備の整備>
 - ・旧銀行の建物を美術館の新館として改修

文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

1,300万円

計画区域



⑩阿蘇ジオパークの拠点施設を中核とした文化観光の推進に係る地域計画

計画作成・実施体制

協議会：阿蘇ジオパーク推進協議会
 自治体：阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町
 中核文化観光拠点施設（設置者）：
 阿蘇火山博物館（公益財団法人阿蘇火山博物館）
 文化観光推進事業者：
 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター
 その他構成員：
 ASO田園空間博物館、阿蘇グリーンストック、熊本大学
 阿蘇温泉観光旅館協同組合、阿蘇ネイチャーランド 等

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

- ・外国人来訪者の満足度
 2019年度 35%→2024年度 45%（大満足」の割合）（+10%）
- ・外国人来訪者数
 2019年度 801千人→2024年度 1,674千人（約2.1倍）
- ・外国人宿泊者数
 2019年度 267千人→2024年度 558千人（約2.1倍）
 ※10年後（2029年度）には860千人（約3.2倍）
- ・日本人宿泊者数
 2019年度 681千人→2024年度 1,263千人（1.9倍）

地域文化観光推進事業

- <1.文化資源の魅力の増進>**
 ・地域全体を回遊させるストーリーの構築や文化観光推進のための中核人材の確保・育成
- <2.文化観光に関する利便の増進>**
 ・サイクルツーリズムの二次交通利用、ユニバーサルデザイン体制
- <3.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>**
 ・草泊りでの夕食の提供など飲食店等と連携しガストロミーの提供
- <4.国内外への宣伝>**
 ・「阿蘇くじゅう観光圏」を運営する地域連携DMOと連携したマーケティング調査や国内外へのプロモーション活動
- <5.施設又は設備の整備>**
 ・VRドームや双方向型デジタルサイネージなどの設置

文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

3,300万円

計画区域

阿蘇くじゅう観光圏



中核文化観光拠点施設
 (主要な文化資源)

主要な文化資源
 (文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設

1.文化資源の魅力の増進

文化資源の充実



三の丸尚蔵館等の収蔵品を活用した企画展の開催【(公財)徳川美術館等】



オンライン「コレクションサイト(仮称)」の構築【寺田倉庫(株)等】



現代美術作家と協働した作品制作・設置、アート空間創出、作品のWEB公開等【山梨県等】



社寺等の文化資源をユニークベニューとして活用した音楽祭や芸術祭等【奈良県等】

人材育成・確保



文化資源を新たな切り口で案内できる稼げるガイドを育成【阿蘇市等】



アート愛好家向け会員制度「パトナー・ジュ・メンバー」の導入【寺田倉庫(株)等】

2.文化についての理解促進

分かりやすい解説・紹介



富裕旅行や教育旅行向けの夜間・早朝等の特別解説ツアー等の実施(質の高い飲食や宿泊等と連携)【奈良県等】



鑑賞者(障がい者、認知症、発達障害、地域内外の企業)のニーズに即した鑑賞プログラムの開発・提供(オンライン配信含む)【山梨県等】

情報通信技術の活用



スマートフォンによる音声ガイドシステムの構築【寺田倉庫株式会社等】



VR空間の創出と課金システムの構築【(公財)大原美術館等】

多言語対応



QRコードを活用した展示解説の多言語化【阿蘇市等】



海外富裕層向けツアーガイドの育成とプログラムの提供【(公財)大原美術館等】

3.文化観光に関する利便の増進

移動の利便性



案内ガイドが同乗し、博物館と遺跡を回遊するバスの導入【福井県等】



特典付き共通乗車券の発行【堺市等】

利用の利便性



富裕層向けナイトミュージアム等の実施【寺田倉庫(株)等】



コンベンション等の開催(ユニークベニューとしての活用)【(公財)大原美術館等】



拠点施設の共通入館券等の導入【奈良県等】



ニューノーマルでの鑑賞環境整備(事前予約やチケットレス化のためのシステム導入等)【(公財)大原美術館等】

4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進



地域の飲食店や宿泊施設等と連携した特別な料理の開発と特別な場所での提供【阿蘇市等】



博物館、遺跡、飲食施設、宿泊施設等をセットで楽しめる割引クーポンを発行【福井県等】



伝統産業について実際の製造現場等で来訪者がものづくり体験できる体験型観光コンテンツの提供【堺市等】



近接する伝統的建造物群保存地区の空き店舗を活用した起業を支援【横手市等】



土産物として埴輪の製作を体験できる工房を設置【群馬県等】



所蔵作品画像による商品開発【(公財)大原美術館等】

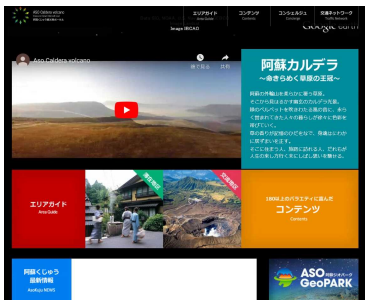
5. 国内外への宣伝



海外の博物館等と連携した文化財等の海外展覧会・本邦展覧会の開催等(アジア・欧米)【奈良県等】



JNTOと連携した海外宣伝の実施【群馬県等】



「阿蘇くじゅう観光圏」を運営する地域連携DMOと連携したマーケティング調査や国内外へのプロモーション活動【阿蘇市等】



東京における情報発信拠点「奈良まほろば館」における文化観光に関する魅力の紹介【奈良県等】

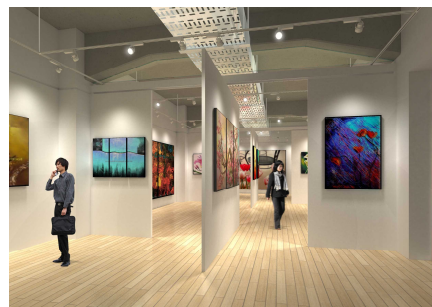


交通事業者等と連携した企画きっぷの販売等、誘客キャンペーンの実施【阿蘇市等】



県外類似施設と連携したスタンプラリーの開催【横手市等】

6. 施設又は設備の整備



アートミュージアム施設の開館【寺田倉庫(株)等】



地域における歴史的建造物を活用したサテライト施設の開設【(公財)大原美術館等】



県内全域の文化観光のゲートウェイの役割を担う複合施設「なら歴史芸術文化村」の整備【奈良県等】



アートギャラリーカフェの開設【寺田倉庫(株)等】



町家を活用したミュージアムの開設【堺市等】



美術館所蔵作品に描かれた風景等を体験できるスポットの整備【横手市等】